

市民アンケート調査報告書（概要版）

第1章 調査の概要

1. 調査目的

本市では、第6次宝塚市総合計画「わたしの舞台は たからづか」をスローガンに掲げ、「活動・活躍できる場をつくり、暮らしを支え、まちを未来につなげていく」という想いのもと、市民と行政で共にまちづくりを進めているところである。

本調査は、市民の意識や活動状況、本市の取組に関する評価等の把握を行うことを目的に実施するものである。

2. 調査内容

（1）調査対象

宝塚市在住の16歳以上の市民（令和5年（2023年）9月末日現在）3,000人を抽出し、調査Ⅰに1,500人、調査Ⅱに1,500人にそれぞれ区分している。

（2）実施期間

令和5年（2023年）10月18日～令和5年（2023年）11月20日

（3）調査方法

郵送による配付・回収及び Web による回答

(4) 調査項目

- 【調査Ⅰ】
- ・回答者の属性
 - ・居住意向について
 - ・宝塚市のイメージについて
 - ・市民の意識や活動状況について
 - ・市の取組について
- 【調査Ⅱ】
- ・回答者の属性
 - ・居住意向について
 - ・市民の意識や活動状況について
 - ・市の取組について

(5) 抽出方法

宝塚市域をまちづくり協議会を単位とした 20 地区に区分し、当該地区に居住する市民（住民基本台帳）から年齢や性別に偏りがないように、それぞれ 75 人を無作為に抽出し、人口の少ない地区からも一定数の回答数が得られるようにした（多層ランダムサンプリング抽出法）。

(6) 回収結果

	配布数	回答方法別：有効回収数 有効回収率		有効回収率
		郵送による回答	Web による回答	
調査Ⅰ	1,500 件	460 件	127 件	39.1%
		30.7%	8.5%	
		郵送による回答	Web による回答	
調査Ⅱ	1,500 件	454 件	120 件	38.3%
		30.3%	8.0%	
		郵送による回答	Web による回答	
合計	3,000 件	1,161 件		38.7%

(7) 集計方法

各地区の定数（75 人）を合計した値で市全体の集計を行うと、各地区の人口規模等を反映しない結果となり、市全体の傾向を正しく把握できない。そのため、各地区の人口規模と年齢区分に応じて回答数に重みづけをしたウエイトバック集計を行った。

なお、平成 30 年度（2018 年度）に実施した調査は、各地区の人口規模のみに応じて回答数に重みづけを行っているため、本調査とウエイトバック集計の値は異なる。

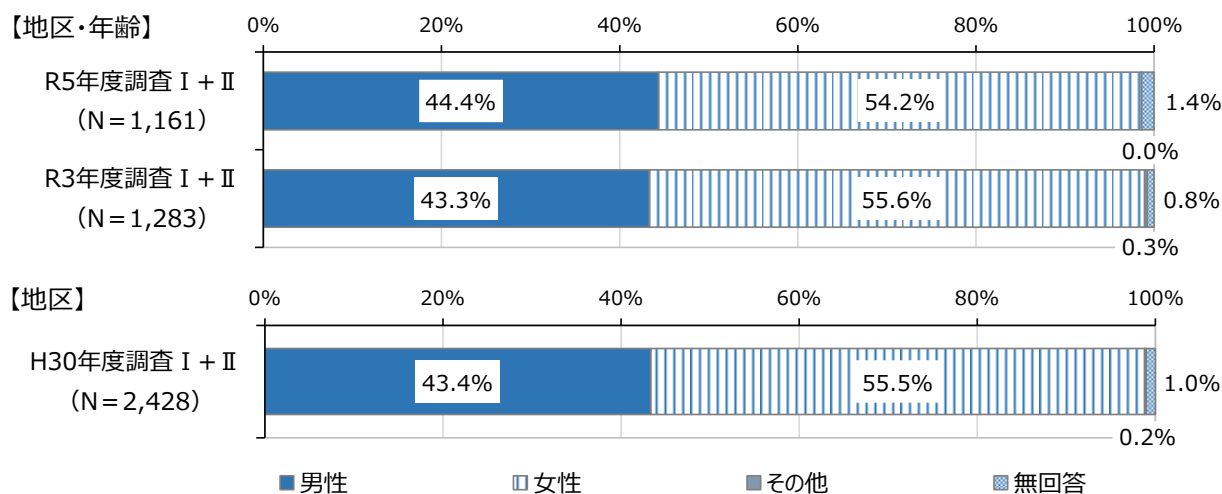
3. 報告書の見方

- ・ 報告書中では、今回調査と令和 3 年度（2021 年度）の集計値に関して、各地区の人口規模と年齢区分に応じたウエイトバック集計と、平成 30 年度（2018 年度）まで実施していた各地区の人口規模のみに応じたウエイトバック集計の 2 種類の値を記載している。集計方法に記載がない場合は各地区の人口規模と年齢区分に応じたウエイトバック集計の値を使用しており、併記する場合はそれぞれの集計値を【地区・年齢】、【地区】と記載している。
- ・ 図中の「合計」は無回答（回答なし）を含む。
- ・ 図及び表の“N”は各設問における母数を表している。クロス集計の場合は、クロス集計の基準となる回答項目の母数である。
- ・ 百分比（%）は、原則として小数第 2 位を四捨五入し、小数第 1 位まで表示している。そのため、四捨五入の結果、個々の比率の合計が 100%と一致しないことがある。
- ・ 回答者数は、ウエイトバック集計を行い小数点以下第 1 位を四捨五入しているため、総数と内訳の計が一致しないことがある。
なお、ウエイトバック集計により、回答者数が 0.5 以下となった場合は、切り捨てとし、N=0（0 人）と表示している。

第2章 調査結果

1. 回答者の属性（調査Ⅰと調査Ⅱの共通項目）

（1）性別



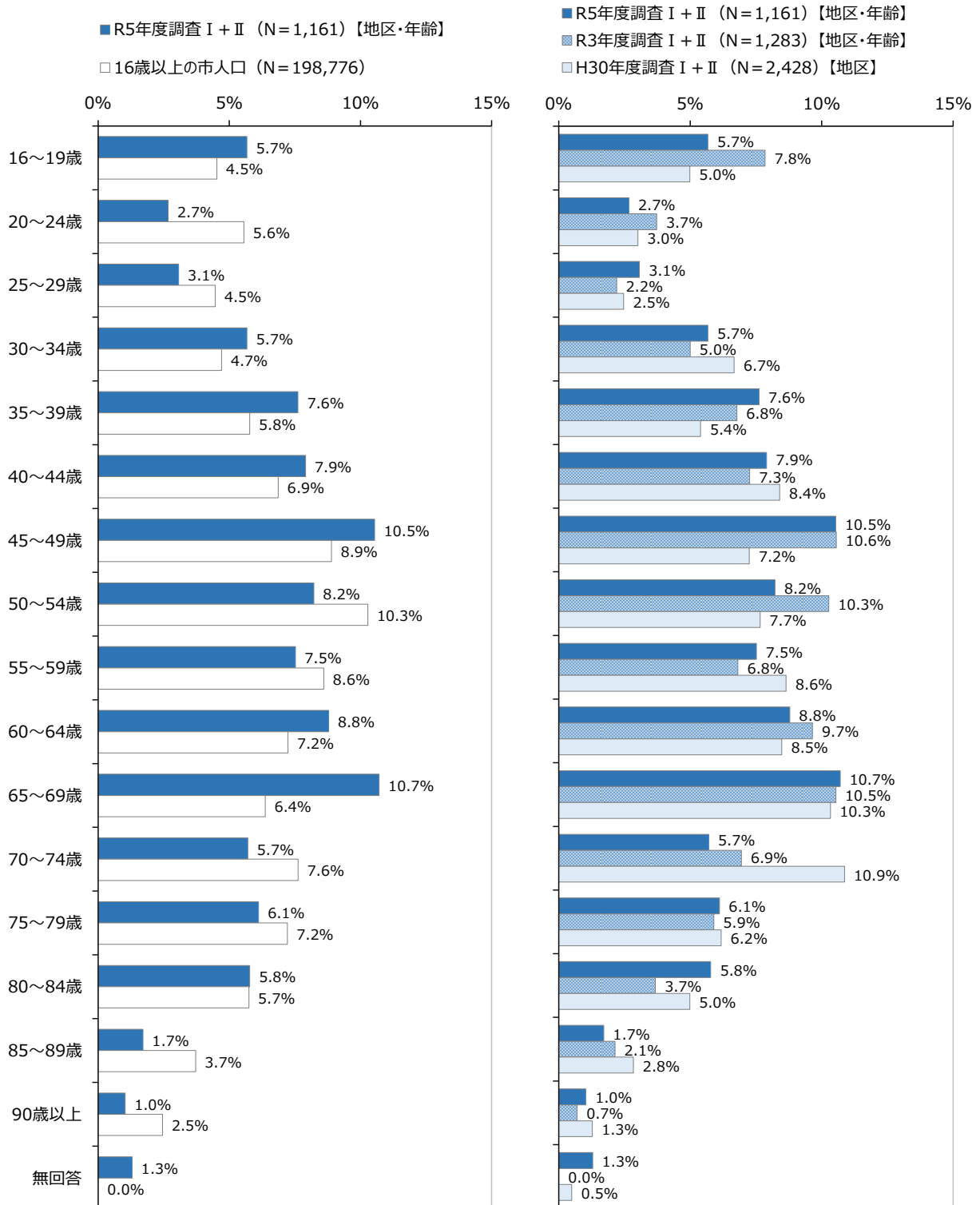
※ 【R5・R3 年度調査の質問文】

「あなたが自認する性別を教えてください。」

【H30 年度調査の質問文】

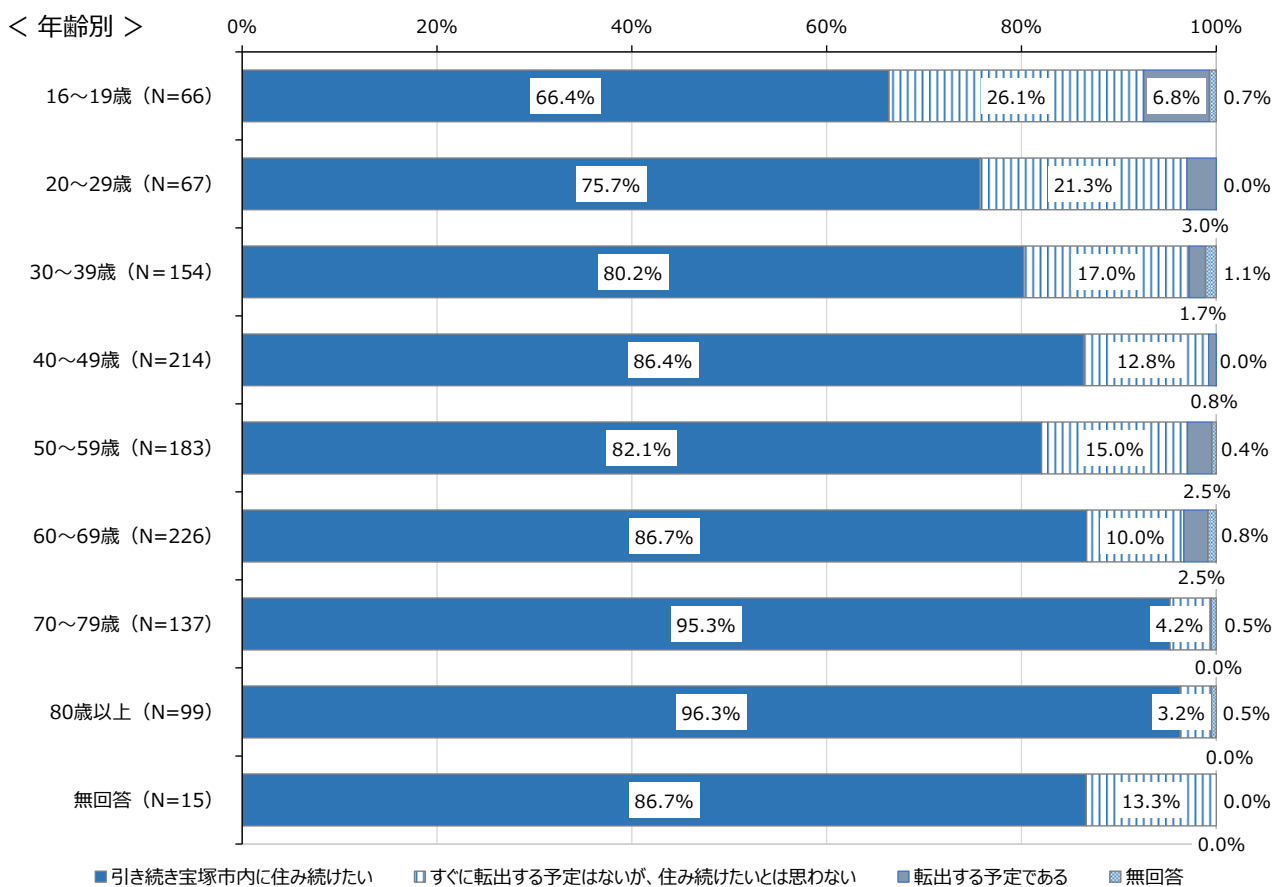
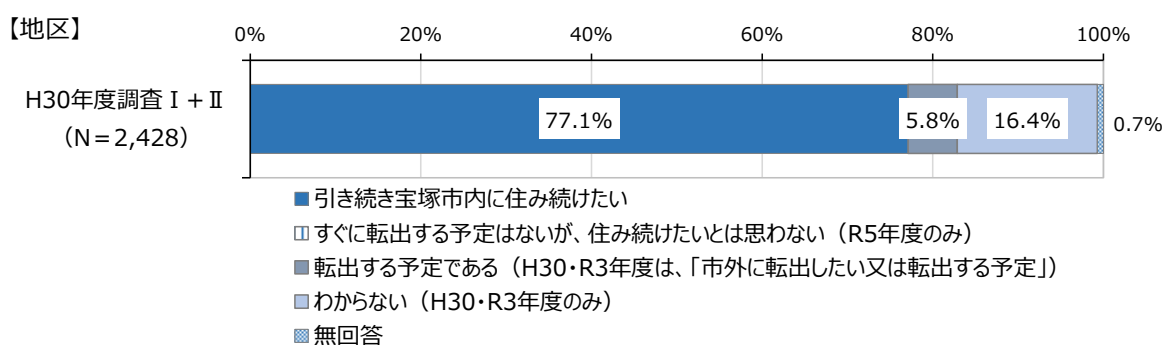
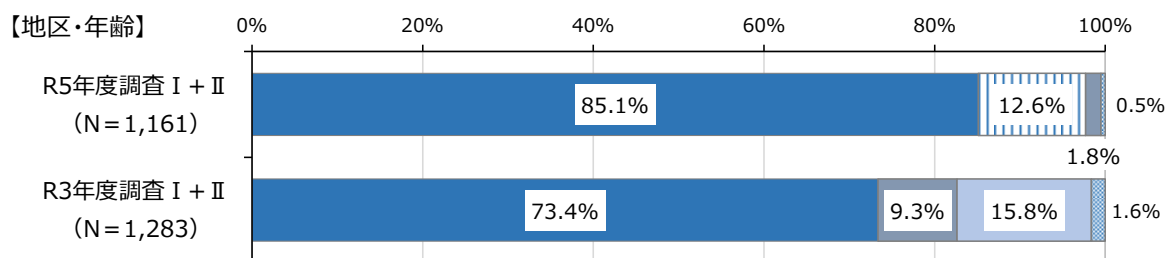
「あなたの性別について該当するものを次の中から1つ選んで番号に○を付けてください。」

(2) 年齢区分

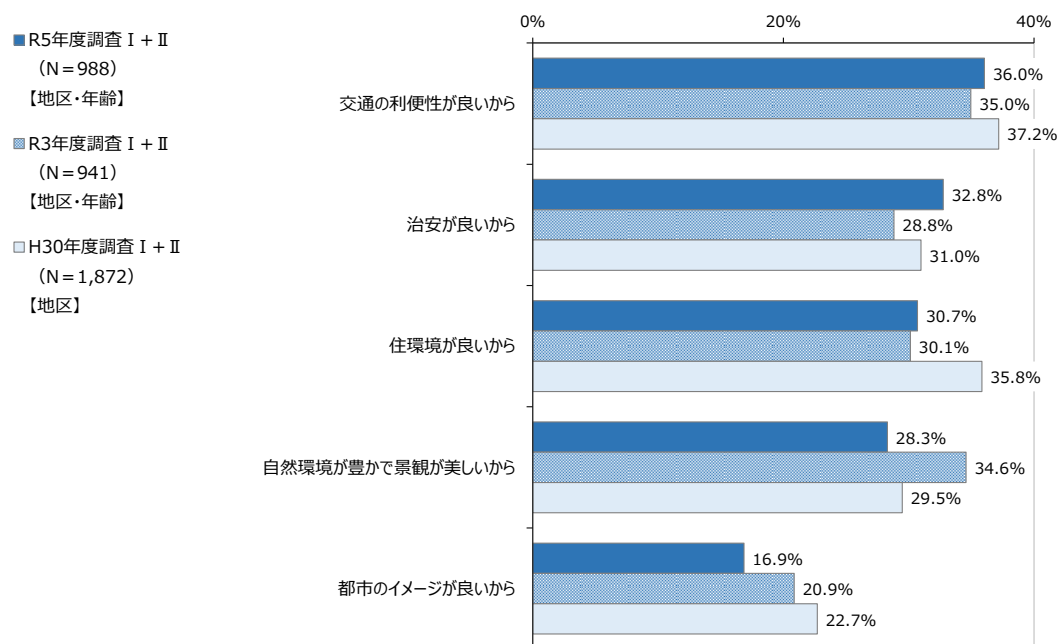


2. 居住意向について（調査Ⅰと調査Ⅱの共通項目）

（1）今後の居住意向



(2) 宝塚市に住み続けたい理由（複数回答3つ）（上位5つ）



<年齢別> 上位3位

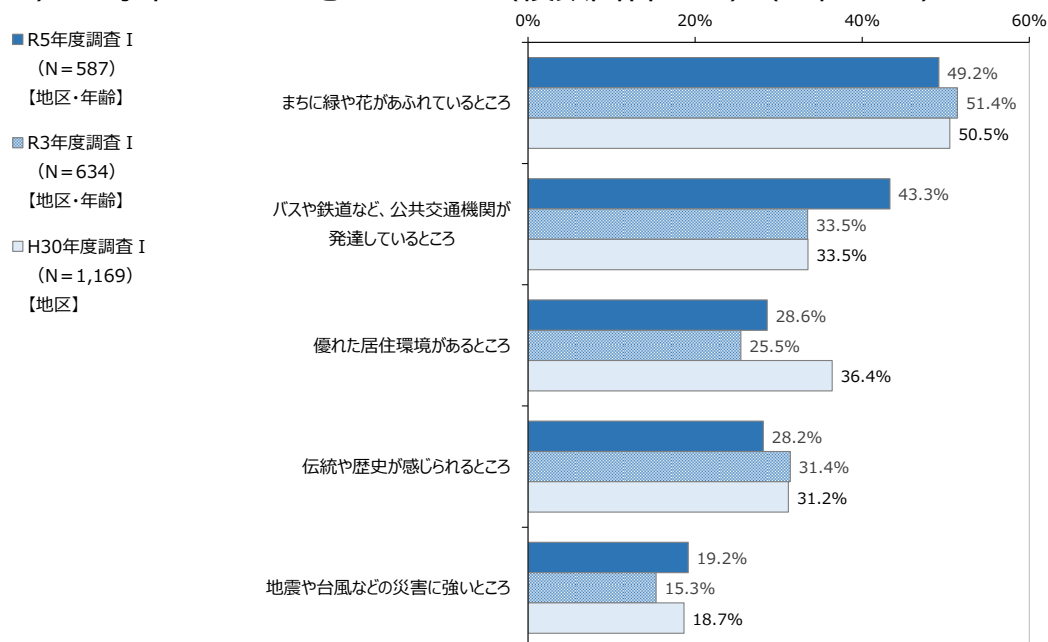
	第1位	第2位	第3位
16～19歳 (N=44)	治安が良いから (65.3%)	交通の利便性が良いから (40.1%)	両親や親せきが近くに 住んでいるから (30.3%)
20～29歳 (N=50)	治安が良いから (50.0%)	交通の利便性が良いから (45.3%)	自分や家族の通勤・通学に 便利だから (33.6%)
30～39歳 (N=124)	治安が良いから (41.7%)	自然環境が豊かで景観が 美しいから (32.3%)	交通の利便性が良いから (29.5%)
40～49歳 (N=185)	治安が良いから (41.4%)	住環境が良いから (30.0%)	自分や家族の通勤・通学に 便利だから (29.5%)
50～59歳 (N=150)	交通の利便性が良いから (38.9%)	自然環境が豊かで景観が 美しいから (27.0%)	治安が良いから (26.8%)
60～69歳 (N=196)	交通の利便性が良いから (38.1%)	住環境が良いから (36.1%)	自然環境が豊かで景観が 美しいから (30.8%)
70～79歳 (N=131)	交通の利便性が良いから (46.8%)	自然環境が豊かで景観が 美しいから (44.2%)	住環境が良いから (39.1%)
80歳以上 (N=95)	自然環境が豊かで景観が 美しいから (36.2%)	住環境が良いから (36.1%)	交通の利便性が良いから (32.3%)
無回答 (N=13)	治安が良いから (38.5%)	都市のイメージが良いから (38.5%)	交通の利便性が良いから (23.1%)

(3) 「居住意向について」のまとめ

- ・ 「引き続き宝塚市内に住み続けたい」は 85.1%で、その理由として「交通の利便性が良いから」(36.0%)、「治安が良いから」(32.8%)、「住環境が良いから」(30.7%)の割合が高くなっている。
- ・ <年齢別>では、16～49歳は「治安が良いから」、50～79歳は「交通の利便性が良いから」、80歳以上は「自然環境が豊かで景観が美しいから」が最も割合が高くなっている。

3. 宝塚市のイメージについて（調査 I）

（1）宝塚市のよいと思うところ（複数回答5つ）（上位5つ）

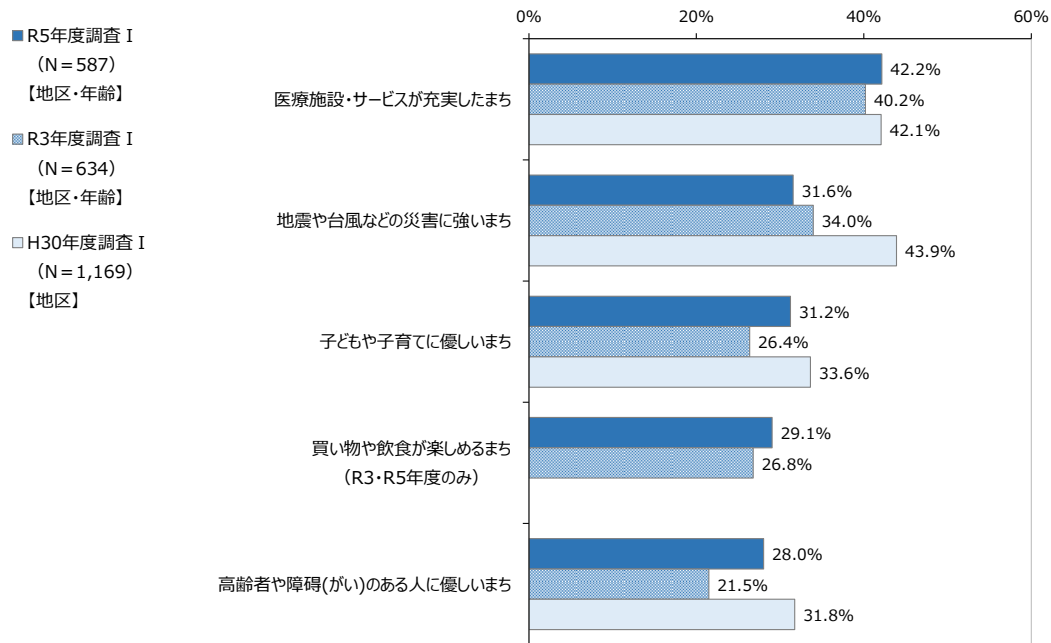


※【R3・H30 年度調査の質問文】「あなたが他都市と比べて宝塚市の方が優れていると思うことは何ですか。」

<年齢別> 上位 3 位

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
16～19 歳 (N=32)	まちに緑や花があふれているところ (64.1%)	バスや鉄道など、公共交通機関が発達しているところ (57.1%)	優れた居住環境があるところ (31.4%)
20～29 歳 (N=31)	まちに緑や花があふれているところ (48.0%)	優れた居住環境があるところ (42.3%)	バスや鉄道など、公共交通機関が発達しているところ (41.4%)
30～39 歳 (N=82)	まちに緑や花があふれているところ (54.6%)	バスや鉄道など、公共交通機関が発達しているところ (34.2%)	優れた居住環境があるところ (32.9%)
40～49 歳 (N=107)	まちに緑や花があふれているところ (53.7%)	バスや鉄道など、公共交通機関が発達しているところ (44.5%)	伝統や歴史が感じられるところ (28.0%)
50～59 歳 (N=94)	バスや鉄道など、公共交通機関が発達しているところ (45.9%)	まちに緑や花があふれているところ (45.1%)	伝統や歴史が感じられるところ (22.9%)
60～69 歳 (N=110)	まちに緑や花があふれているところ (46.3%)	バスや鉄道など、公共交通機関が発達しているところ (42.1%)	伝統や歴史が感じられるところ (38.5%)
70～79 歳 (N=72)	バスや鉄道など、公共交通機関が発達しているところ (54.0%)	まちに緑や花があふれているところ (47.3%)	優れた居住環境があるところ (43.2%)
80 歳以上 (N=52)	まちに緑や花があふれているところ (43.2%)	地震や台風などの災害に強いところ (39.7%)	バスや鉄道など、公共交通機関が発達しているところ (30.6%)
無回答 (N=7)	バスや鉄道など、公共交通機関が発達しているところ (42.9%)	買い物や飲食が楽しめるところ (28.6%)	市民同士がふれあい、コミュニティ活動が活発なところ (28.6%)

(2) 理想とする宝塚市の将来イメージ（複数回答5つ）（上位5つ）



<年齢別> 上位3位

	第1位	第2位	第3位
16～19歳 (N=32)	子どもや子育てに優しいまち (46.5%)	娯楽やレクリエーションなどが楽しめるまち (39.7%)	地震や台風などの災害に強いまち (38.2%)
20～29歳 (N=31)	子どもや子育てに優しいまち (34.4%)	娯楽やレクリエーションなどが楽しめるまち (27.7%)	買い物や飲食が楽しめるまち (24.2%)
30～39歳 (N=82)	子どもや子育てに優しいまち (54.7%)	買い物や飲食が楽しめるまち (43.9%)	医療施設・サービスが充実したまち (36.0%)
40～49歳 (N=107)	子どもや子育てに優しいまち (46.7%)	医療施設・サービスが充実したまち (45.2%)	買い物や飲食が楽しめるまち (39.3%)
50～59歳 (N=94)	医療施設・サービスが充実したまち (45.9%)	地震や台風などの災害に強いまち (45.2%)	防犯・交通安全の取組が進んでいるまち (35.0%)
60～69歳 (N=110)	医療施設・サービスが充実したまち (49.3%)	高齢者や障害(がい)のある人に優しいまち (32.5%)	地震や台風などの災害に強いまち (30.0%)
70～79歳 (N=72)	医療施設・サービスが充実したまち (49.7%)	地震や台風などの災害に強いまち (36.8%)	高齢者や障害(がい)のある人に優しいまち (31.8%)
80歳以上 (N=52)	高齢者や障害(がい)のある人に優しいまち (37.0%)	買い物や飲食が楽しめるまち (30.9%)	医療施設・サービスが充実したまち (30.3%)
無回答 (N=7)	まちに緑や花があふれた庭園のようなまち (42.9%)	地震や台風などの災害に強いまち (28.6%)	子どもや子育てに優しいまち (28.6%)

4. 市民の意識や活動状況について（調査Ⅰと調査Ⅱ）

（1）「市民の意識や活動状況について」のまとめ

1 めざすまちの姿 都市経営

- ・宝塚市に愛着を感じている人（「十分感じている」と回答した人の割合）は22.6%で、R3年度調査（19.9%）より割合が増加している。
- ・自治会加入の状況（「加入している」と回答した人の割合）は48.9%で、R3年度調査（55.8%）より割合が減少している。
- ・まちづくり活動への参加状況（「既に参加している」と「参加しようと思っている」と回答した人の割合）は18.7%で、R3年度調査（18.6%）とほぼ同じ割合である。
- ・日々の生活における人権尊重の状況（「十分に尊重されている」と「十分ではないが、どちらかという尊重されている」と回答した人の割合）は66.8%で、R3年度調査（68.1%）より減少している。
- ・社会における男女の機会均等の状況（「十分に図られている」と「十分ではないが、どちらかという図られている」と回答した人の割合）は41.2%で、R3年度調査（37.2%）より割合が増加している。
- ・市の行政施策への関心度（「非常に関心がある」と「どちらかという関心がある」と回答した人の割合）は48.2%で、R3年度調査（50.1%）より割合が減少している。
- ・議会報「かけはし」の閲覧状況（「いつも見る」と「ときどき見る」と回答した人の割合）は59.9%となっている。
- ・市役所が行っている広聴制度の認知度については、「すべて知らない」（50.6%）、「専門家による無料の市民相談の実施」（41.3%）、「ふれあいトーク（出前講座）の開催」（16.2%）の割合が高くなっている。
- ・市役所の発信する情報を受け取る手段としては、「広報たからづか」（86.5%）、「市ホームページ」（34.3%）、「報道（新聞、テレビ、ラジオ、インターネットニュース）」（32.3%）の割合が高くなっている。
- ・市政の情報提供、広報への評価（「十分できている」と「できている」と回答した人の割合）は58.6%となっている。
- ・マイナンバーカードを用いた来庁しなくても行える手続きの状況（「マイナンバーカードを持っているし、サービスを利用している」と回答した人の割合）は35.3%となっている。
- ・時代にふさわしい市民サービスの提供状況（「十分できている」と「できている」と回答した人の割合）は11.6%で、R3年度調査（8.5%）より割合が増加している。

2 めざすまちの姿 安全・都市基盤

- ・ 緊急時の避難所の認知度（「知っている」と回答した人の割合）は 78.9%で、R3 年度調査（81.3%）より割合が減少している。
- ・ 災害に対する備えの状況（「備えをしている」と回答した人の割合）は 47.7%で、R3 年度調査（50.4%）より割合が減少している。
- ・ 感震ブレーカーの設置の状況（「設置している」と回答した人の割合）は 22.1%で、R3 年度調査（22.1%）と同じ割合である。
- ・ 居住地域の危険箇所の認知度（「知っている」と回答した人の割合）は 53.1%で、R3 年度調査（42.4%）より割合が増加している。

※R3 年度調査は、お住まいの地域の災害・犯罪・交通などの危険箇所の認知度である。

- ・ 住まいの満足度（「満足」+「まあ満足」と回答した人の割合）77.9%で、R3 年度調査（74.2%）より割合が増加している。

3 めざすまちの姿 健康・福祉

- ・ 健康づくりに取り組んでいる人（「毎日取り組んでいる」と「毎日ではないが、できるだけ取り組むようにしている」と回答した人の割合）は 58.7%で、R3 年度調査（55.5%）より割合が増加している。
- ・ 健康診断の受診状況（「受診した」と回答した人の割合）は 84.6%で、R3 年度調査（80.1%）より割合が増加している。
- ・ 「かかりつけ医」がいる人は 49.4%で、R3 年度調査（48.7%）より割合が増加している。
- ・ 「食育」への関心度（「非常に関心がある」と「関心がある」と回答した人の割合）は 66.0%で、R3 年度調査（61.5%）より割合が増加している。
- ・ 地域でのつながりや支え合いを感じている人（「強く感じる」、「感じる」、「やや感じる」と回答した人の割合）は 48.4%で、R3 年度調査（48.1%）より割合が増加している。

4 めざすまちの姿 子ども・教育

- ・ 子育てをしやすい環境だと思う人（「とてもしやすい」と「どちらかという、しやすい」と回答した人の割合）は 49.7%で、R3 年度調査（50.8%）より割合が減少している。
 - ・ 地域による子どもの育成の取組についての考え（「十分に取組まれている」と「どちらかという、よく取組まれている」と回答した人の割合）は 30.1%で、R3 年度調査（33.3%）より割合が減少している。
 - ・ スポーツへの取組状況（週 1 回以上スポーツ（軽スポーツを含む）に「取り組んでいる」と回答した人の割合）は 38.0%で、R3 年度調査（35.7%）より割合が増加している。
- なお、スポーツに取り組んでいない理由として、「仕事（家事、育児、趣味など）で忙しくスポーツをする時間がないから」と回答した人の割合は 56.8%で、R3 年度調査（57.4%）より割合が減少している。

5 めざすまちの姿 環境

- ・宝塚らしさを感じる景観が保たれていると思う人（「思う」と「どちらかというと思う」と回答した人の割合）は70.9%で、R3年度調査（64.9%）より割合が増加している。
- ・緑化（花）活動への取組状況（「日常的に取り組んでいる」と「できる限り取り組むようにしている」と回答した人の割合）は33.0%で、R3年度調査（36.9%）より割合が減少している。
- ・市内の自然環境が保全されていると思う人（「よく保全されている」と「どちらかという保全されている」と回答した人の割合）は67.5%で、R3年度調査（66.8%）より割合が増加している。
- ・まちの美化活動による生活環境の状況（「保たれている」と回答した人の割合）は62.4%で、R3年度調査（60.6%）より割合が増加している。
- ・環境保全活動への参加状況（「参加している」と「できる限り参加するようにしている」と回答した人の割合）は27.3%で、R3年度調査（32.1%）より割合が減少している。
- ・取り組むべきと感じている環境問題について、「地球温暖化防止」が39.0%で最も高く、R3年度調査（32.7%）より割合が増加している。

6 めざすまちの姿 観光・産業・文化

- ・訪れたことのある観光資源は、「寺社仏閣（中山寺・清荒神清澄寺など）」が53.0%で最も多く、次いで「あいあいパーク」（33.7%）、「温泉」（19.3%）となっている。
- ・宝塚ブランド「モノ・コト・バ宝塚」の認知度（「存在を知っており、活用している」と「存在は知っている」と回答した人の割合）は13.2%であり、多数の人が「知らない」と回答している。
- ・市内事業者の利用・購入状況（「積極的に利用・購入しようと思っている」、「なるべく利用・購入しようと思っている」、「ときどき利用・購入しようと思っている」と回答した人の割合）は77.3%である。
- ・文化芸術活動の状況（「よく親しんでいる」と「親しんでいる」と回答した人の割合）は30.7%で、R3年度調査（32.4%）より割合が減少している。

(2) 市民の意識や活動状況に関する調査一覧表

1 めざすまちの姿 都市経営

設問	【地区・年齢】		【地区】	説明
	R5年 度調査	R3年 度調査	H30年 度調査	
宝塚市に対する愛着	22.6% (2.7)	19.9%	—	「十分感じている」と回答した市民の割合
自治会の加入状況	48.9% (-6.9)	55.8%	—	「加入している」と回答した市民の割合
有効だと考える自治会からの情報発信方法	/	/	—	R5年度調査で最も多い回答は「紙資料の回覧(38.7%)」
自治会に加入していない理由	/	/	—	R5年度調査で最も多い回答は「仕事の都合で自治会活動をする時間的余裕がない(32.8%)」
まちづくり協議会の認知度	23.9% (-2.5)	26.4%	—	「知っているし、活動に参加している」+「知っている」と回答した市民の割合
まちづくり活動への参加状況	18.7% (0.1)	18.6%	31.6%	「既に参加している」+「参加しようと思っている」と回答した市民の割合
参加しているまたは参加したいまちづくり活動	/	/	/	R5年度調査で最も多い回答は「まちの美化・清掃活動、緑化(花)の推進(58.2%)」
参加しているまたは参加したいまちづくり活動の形態	/	—	—	R5年度調査で最も多い回答は「自治会での活動に参加(69.4%)」
まちづくり活動に参加しようと思わない理由	/	/	—	R5年度調査で最も多い回答は「関心はあるが、仕事の都合で時間に余裕がない(30.5%)」
協働の取組状況と取組意向	27.3% (8%)	19.3%	—	「協働の取組を行っている」+「協働の取組を行っていないが、今後、行いたい」と回答した市民の割合
日々の生活における人権尊重の状況についての考え	66.8% (-1.3)	68.1%	—	「十分に尊重されている」+「どちらかという尊重されている」と回答した市民の割合
市の施策における人権尊重の視点についての考え	41.1% (-6.9)	48.0%	—	「十分に立っている」+「どちらかという立っている」と回答した市民の割合
社会における男女の機会均等の状況についての考え	41.2% (4.0)	37.2%	—	「十分に図られている」+「どちらかという図られている」と回答した市民の割合
男女共同参画を進めるために充実または改善すれば良いと思うこと	/	—	—	R5年度調査で最も多い回答は「家事の分担(55.8%)」
市の施策における男女共同参画の視点についての考え	39.5% (7.0)	32.5%	—	「十分に立っている」+「どちらかという立っている」と回答した市民の割合
市の行政施策への関心度	48.2% (-1.9)	50.1%	—	「非常に関心がある」+「どちらかという関心がある」と回答した市民の割合
市の行政施策に意見を述べたことの有無	11.8%	—	—	「1年間に複数回行った」+「1年間に1回行った」+「過去(1年を超えて)に意見を言った」と回答した市民の割合
議会報「かけはし」の閲覧状況	59.9%	—	—	「いつも見る」+「ときどき見る」と回答した市民の割合

市役所が行っている広聴制度	/	—	—	R5 年度調査で最も多い回答は「すべて知らない (50.6%)」
市役所の発信する情報を受け取る手段	/	—	—	R5 年度調査で最も多い回答は「広報たからづか (86.5%)」
市政の情報提供、広報	58.6%	—	—	「十分できている」+「できている」と回答した市民の割合
市政の情報提供、広報ができていないと思う理由	/	—	—	R5 年度調査で最も多い回答は「欲しい情報が探しにくい (40.7%)」
力を入れてほしい情報発信の手段	/	—	—	R5 年度調査で最も多い回答は「広報たからづか (61.4%)」
コミュニティ FM「エフエム宝塚」の聴取頻度	6.9%	—	—	「よく聴く」+「たまに聴く」と回答した市民の割合
コミュニティ FM「エフエム宝塚」の災害時、平常時の役割	21.2%	—	—	「知っている」と回答した市民の割合
マイナンバーカードの利用	35.3%	—	—	「マイナンバーカードを持っているし、サービスを利用している」と回答した市民の割合
時代にふさわしい市民サービス	11.6% (3.1)	8.5%	—	「十分できている」+「できている」と回答した市民の割合

※ 括弧内の数値は、地区・年齢ウエイトバック集計における R3 年度調査との差 (単位：ポイント)

※ R3・H30 年度に調査をしていない設問は「—」とする

※簡易的にまとめるににくい設問は「/」とする

2 めざすまちの姿 安全・都市基盤

設問	【地区・年齢】		【地区】	説明
	R5 年度調査	R3 年度調査	H30 年度調査	
緊急時の避難所の認知度	78.9% (-2.4)	81.3%	83.9%	「知っている」と回答した市民の割合
災害に対する備えの状況	47.7% (-2.7)	50.4%	48.9%	「備えをしている」と回答した市民の割合
感震ブレーカーの設置の状況 ※H30 は住宅用火災報知器の設置状況	22.1% (0)	22.1%	78.5%	「設置している」と回答した市民の割合
居住地域の危険箇所の認知度 ※R3・H30 は、お住まいの地域の災害・犯罪・交通などの危険箇所の認知度	53.1% (10.7)	42.4%	35.1%	「知っている」と回答した市民の割合
居住地域の治安についての考え	83.3%	—	—	「とても良い」+「比較的良い」と回答した市民の割合
防犯カメラについての考え	81.1%	—	—	「大いに役立つと思う」+「役立つと思う」と回答した市民の割合
自転車乗車用ヘルメットについて	7.3%	—	—	「いつも着用している」+「ときどき着用している」と回答した市民の割合 ※58.1%が自転車を利用していない
消費者トラブルへの対応についての考え	62.6%	—	—	「十分できている」+「できている」と回答した市民の割合
住まいの満足度	77.9% (3.7)	74.2%	—	「満足」+「まあ満足」と回答した市民の割合

※ 括弧内の数値は、地区・年齢ウエイトバック集計における R3 年度調査との差 (単位：ポイント)

※ R3・H30 年度に調査をしていない設問は「—」とする

3 めざすまちの姿 健康・福祉

設問	【地区・年齢】		【地区】	説明
	R5年度調査	R3年度調査	H30年度調査	
健康づくりへの取組状況	58.7% (3.2)	55.5%	52.5%	「毎日取り組んでいる」+「毎日ではないが、できるだけ取り組むようにしている」と回答した市民の割合
健康診断の受診状況	84.6% (4.5)	80.1%	—	「受診した」と回答した市民の割合
「かかりつけ医」の有無	49.4% (0.7)	48.7%	50.1%	「はい」と回答した市民の割合
「食育」への関心度	66.0% (4.5)	61.5%	—	「非常に関心がある」+「関心がある」と回答した市民の割合
「フレイル」について	19.9%	—	—	「意味や予防方法も知っている」と回答した市民の割合
地域でのつながりや支え合いの実感度	48.4% (0.3)	48.1%	—	「強く感じる」+「感じる」+「やや感じる」と回答した市民の割合
地域でのつながりや支え合いに必要なもの	/	—	—	R5年度調査で最も多い回答は「隣近所との付き合い(74.6%)」
生活の不安や悩みに対する相談機関等	/	—	—	R5年度調査で最も多い回答は「地域包括支援センター(17.7%)」

※ 括弧内の数値は、地区・年齢ウエイトバック集計におけるR3年度調査との差(単位:ポイント)

※ R3・H30年度に調査をしていない設問は「—」とする

※簡易的にまとめるににくい設問は「/」とする

4 めざすまちの姿 子ども・教育

設問	【地区・年齢】		【地区】	説明
	R5年度調査	R3年度調査	H30年度調査	
子育て環境についての考え	49.7% (-1.1)	50.8%	49.7%	「とてもしやすい」+「どちらかというと、しやすい」と回答した市民の割合
地域による子どもの育成の取組についての考え	30.1 (-3.2)	33.3%	29.1%	「十分に取組まれている」+「どちらかというと、よく取組まれている」と回答した市民の割合
たからっ子総合相談センター「あのね」について	3.6%	—	—	「存在を聞いたことがあるし、どのようなところか内容も知っている」と回答した市民の割合
スポーツへの取組状況	38.0% (2.3)	35.7%	35.4%	「取り組んでいる」と回答した市民の割合
スポーツに取り組んでいない理由	/	—	—	R5年度調査で最も多い回答は「仕事(家事、育児、趣味など)で忙しくスポーツをする時間がないから(56.8%)」

※ 括弧内の数値は、地区・年齢ウエイトバック集計におけるR3年度調査との差(単位:ポイント)

※ R3・H30年度に調査をしていない設問は「—」とする

※簡易的にまとめるににくい設問は「/」とする

5 めざすまちの姿 環境

設問	【地区・年齢】		【地区】	説明
	R5年度調査	R3年度調査	H30年度調査	
宝塚らしさを感じる景観についての考え	70.9% (6.0)	64.9%	—	「思う」+「どちらかと思う」と回答した市民の割合
緑化(花)活動への取組状況	33.0% (-3.9)	36.9%	36.0%	「日常的に取り組んでいる」+「できる限り取り組むようにしている」と回答した市民の割合
市内の自然環境の保全状況についての考え	67.5% (0.7)	66.8%	56.5%	「よく保全されている」+「どちらか」と回答した市民の割合
まちの美化活動による生活環境の状況	62.4% (1.8)	60.6%	—	「保たれている」と回答した市民の割合
環境保全活動への参加状況	27.3% (-4.8)	32.1%	30.3%	「参加している」+「できる限り参加するようにしている」と回答した市民の割合
ごみ減量化(3R)への取組状況	/	—	—	R5年度調査で最も多い回答は「買い物時にマイバッグを持参する(90.0%)」
取り組むべきと感じている環境問題	/	—	—	R5年度調査で最も多い回答は「地球温暖化防止(39.0%)」
省エネルギーや節電、再生可能エネルギーの導入にあたって必要なこと	/	—	—	R5年度調査で最も多い回答は「省エネ機器などの購入に対する助成(27.7%)」
住まいの再エネ・省エネ設備の導入状況	/	—	—	R5年度調査で最も多い回答は「ヒートポンプ給湯器(エコキュート)(16.4%)」

※ 括弧内の数値は、地区・年齢ウエイトバック集計におけるR3年度調査との差(単位:ポイント)

※ R3・H30年度に調査をしていない設問は「—」とする

※簡易的にまとめるににくい設問は「/」とする

6 めざすまちの姿 観光・産業・文化

設問	【地区・年齢】		【地区】	説明
	R5年度調査	R3年度調査	H30年度調査	
訪れたことのある観光資源	/	—	—	R5年度調査で最も多い回答は「寺社仏閣(中山寺・清荒神清澄寺など)(53.0%)」
観光資源を来訪したきっかけ	/	—	—	R5年度調査で最も多い回答は「知人・友人・家族からの勧め(40.8%)」
宝塚ブランド「モノ・コト・バ宝塚」の認知度	13.2%	—	—	「存在を知っており、活用している」+「存在は知っている」と回答した市民の割合
市内事業者の利用・購入状況	77.3%	—	—	「積極的に利用・購入しようと思っている」+「なるべく利用・購入しようと思っている」+「ときどき利用・購入しようと思っている」と回答した市民の割合
文化芸術活動の状況	30.7% (-1.7)	32.4%	—	「よく親しんでいる」+「親しんでいる」と回答した市民の割合

※ 括弧内の数値は、地区・年齢ウエイトバック集計におけるR3年度調査との差(単位:ポイント)

※ R3・H30年度に調査をしていない設問は「—」とする

※簡易的にまとめるににくい設問は「/」とする

4. 「市の取組について」のまとめ

調査票Ⅱにおいて聞き取りをした「市の取組への評価」について、以下のとおりに数値化し分析を行った。

(1) 市の取組への評価の数値化（算出方法）

- ・各選択肢（わからない、無回答を除く）に得点を配分する。

得点配分

選択肢	得点（点）
十分できている	5
できている	4
普通	3
あまりできていない	2
できていない	1
わからない、無回答	対象外

- ・各選択肢の構成比に得点を乗じ、その合計値を選択肢の構成比の合計で除して、評価点を算出する。

- ・算出式

$$\text{評価点} = \left(\left(\text{「十分できている」構成比} \times 5 \right) + \left(\text{「できている」構成比} \times 4 \right) + \left(\text{「普通」構成比} \times 3 \right) + \left(\text{「あまりできていない」構成比} \times 2 \right) + \left(\text{「できていない」構成比} \times 1 \right) \right) \div \Sigma$$

（選択肢の構成比の合計）

(2) 算出結果

評価されている施策及びあまり評価されていない施策は以下のとおりである。

■ 評価されている施策

- ・めざすまちの姿 1 安全・都市基盤「③ 消防救急体制の充実」(3.33)
- ・めざすまちの姿 1 安全・都市基盤「⑦ 水道水の安全・安定的な供給」(3.35)
- ・めざすまちの姿 4 環境「② 地域緑化（花）活動への取組」(3.29)
- ・めざすまちの姿 4 環境「⑤ 分別収集などごみの減量化の取組」(3.24)

■ あまり評価されていない施策

- ・めざすまちの姿 1 安全・都市基盤「④ バス路線の充実」(2.60)
- ・めざすまちの姿 1 安全・都市基盤「⑤ 歩行者や車両にとって安全で快適な道路整備」(2.42)
- ・めざすまちの姿 1 安全・都市基盤「⑥ 歩道の段差解消などのバリアフリー化」(2.35)
- ・めざすまちの姿 4 環境「⑦ 再生可能エネルギー推進への取組」(2.69)

市の取組への評価

単位：点

めざすまちの姿	取組	【地区・年齢】		【地区】
		R5 年度 調査	R3 年度 調査	H30 年度 調査
① 安全・都市基盤	①防災に関する情報提供	3.16 (+0.07)	3.09	3.02
	②防犯・交通安全に関する情報提供	3.05 (+0.13)	2.92	2.91
	③消防救急体制の充実	3.33 (+0.11)	3.22	3.33
	④バス路線の充実 (R3・H30 年度は、バス路線のネットワーク化)	2.60 (+0.04)	2.56	2.46
	⑤歩行者や車両にとって安全で快適な道路整備	2.42 (+0.16)	2.26	—
	⑥歩道の段差解消などのバリアフリー化	2.35 (+0.13)	2.22	2.24
	⑦水道水の安全・安定的な供給	3.35 (+0.06)	3.29	3.46
② 健康・福祉	①健康的な生活習慣づくりに関する意識啓発活動	2.91 (+0.06)	2.85	2.92
	②市立病院の医療サービス	2.97 (+0.13)	2.84	2.84
③ 子ども・教育	①子ども、保護者、地域のニーズに対する教育行政の取組	2.88 (+0.21)	2.67	2.73
	②妊産婦や子ども、家庭への支援	2.82 (+0.06)	2.76	—
	③宝塚市立の小・中学校の基礎・基本的な学力の定着への取組	2.94 (+0.18)	2.76	2.84
	④青少年の健全育成に関する取組	2.98 (+0.19)	2.79	2.75
④ 環境	①市域全体の景観保全への取組	3.15 (+0.06)	3.09	2.94
	②地域緑化（花）活動への取組	3.29 (+0.06)	3.23	3.11
	③地域の特性やニーズに合った公園整備	3.01 (+0.12)	2.89	—
	④環境教育・学習の取組	3.02 (+0.19)	2.83	2.90
	⑤分別収集などごみの減量化の取組	3.24 (+0.13)	3.11	3.16
	⑥省エネルギー推進への取組	2.72 (+0.14)	2.58	—
	⑦再生可能エネルギー推進への取組	2.69 (+0.17)	2.52	—
⑤ 観光・産業・文化	①市民の文化活動に対する支援	2.90 (+0.02)	2.88	2.90
	②「宝塚」が持つ魅力の市内外への情報発信	2.71 (+0.09)	2.62	2.76

※ 括弧内の数値は、地区・年齢ウエイトバック集計における R5 年度調査と R3 年度調査の差

※ H30 年度に調査をしていない設問は「—」とする